



今、様々な生活・福祉課題を抱えながらも、必要とする支援を受けることができない方や、制度の狭間で支援に至らず孤立する方などへの支援の充実が求められています。このような中、平成二十七年四月から「生活困窮者自立支援制度」の創設により、相談窓口の一元的な設置による包括的支援を行う新たな取り組みが始まりました。

また、昨年度末には「社会福祉法等の一部を改正する法律」が成立・公布され、全ての社会福祉法人に「地域における公益的な取り組み」を実施する責務が創設されました。

これからは、地域における多様な生活・福祉課題を的確に把握し、地域の社会福祉法人を含む地域のあらゆる組織や住民が共働しながら、柔軟に対応できる支援やサービスを創り出してゆくことが求められています。

本会では、昨年度、地域における相談活動の現状と社会福祉法人による地域における新たな取り組みの創設や公益活動の普及促進を図ることを目的に、地域の実情を把握し、常に住民に寄り添い、相談や必要な支援を行う県内全ての民生委員・児童委員（2001名）の方々に、調査にご協力いただきました。

とくしま 福祉広報
186号 june.2016

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/

地域における 相談活動と 社会福祉法人への 期待調査

ボランティア・
NPOの情報紙
35号 june.2016

とくしま県民活動プラザ
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel: 088-664-8211 fax: 088-664-5345
e-mail: info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
http://www.tokuvc.jp



マスコットキャラクター プララ

ひと35号 june.2016

CONTENTS

特集 NPO法人力フネイチャーネットワーク
自然と共生するまちづくりへ

ひと 他人との違いを魅力と感じ、自分らしく生きていきたい
NPO法人 Japan GID Friends
理事長 清水 展人さん

シリーズ・このひとから
マスターズ甲子園に挑戦
NPO法人 阿波勝浦井戸端塾
塾長 稲井 深さん

ボランティアを通じた地域づくり
阿南市社会福祉協議会 大坂 和弘さん

ハートリレー
No.35 岩藤さんから五反田さんへ

New face NPO法人 チャレンジサポートーズ
白坂 賢太さん

NPO 法人
カイフネイチャーネットワーク
自然と共生する
まちづくりへ
Kaifu Nature Network

牟岐はウミガメの上陸や産卵、亜熱帯性の魚やサンゴが見られる自然豊かな町です。今回の特集は牟岐の自然を残す活動をされている「カイフネイチャーネットワーク」さんをご紹介します。



NPO 法人 カイフネイチャーネットワーク

自然と共に生するまちづくりへ

Kaifu Nature Network



仲間がいるから

理事長 浅香 新八郎さん

地域の宝に推定年齢千年以上“千年サンゴ”があります。この千年サンゴは平成28年2月10日に「100年後の子どもたちに地域の豊かな自然や文化を残していく」ことがテーマの「日本ユネスコ・プロジェクト未来遺産」に登録されました。また、このサンゴをシンボルに地域を活性化しようと、自団体を含む9つの構成団体で、製造菓子等の商標登録をとったり、サンゴにとって有害な生物の駆除を、ボランティアドバイアードの協力を得て取り組むなど保全プロジェクトにも力を入れております。

平成26年に地元の小中学生に、「海や川で泳いだか」というアンケートをとると、結果はなんと16%でした。子ども達にもっと自然に関心を持ってもらいたく、牟岐川上流の谷川、川の淵や滑り台のような場所を整備し、集まってくれた子どもたちに山・川・海の役割の話をしました。これからも子どもたちに直に触れて自然の素晴らしさを知ってもらいたいと思います。

活動の中で大切にしていることは「人の和」。強い絆で結ばれた仲間がいるからこそ活動が続けられます。平常時は、一人ひとりが得意分野を活かし活動しており、イベント時には集結し、協力し合う。これがカイフネイチャーネットワークです。

1年中花を咲かせたい

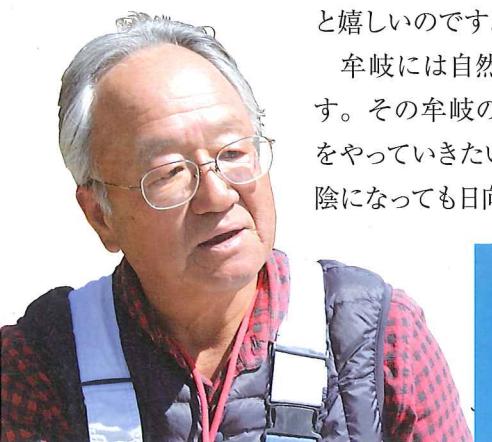
おおばい けんじ
大梅 謙治さん

私は牟岐の自然が好きで、地域の休耕田を田んぼにし、レンゲなどの花づくりを行っています。1年を通じてきれいな花を咲かせたいと思い始めました。

そのレンゲの見頃は4月中旬です。種ができる田植えの時期に、種を田んぼの中に1年おいておくと春にまたきれいな花を咲かせてくれます。レンゲの次は米作り。化学肥料は一切使わず、レンゲの肥えのみで作ります。用水にも水生生物がたくさんおり、田んぼにはメダカやカニが現れ、地域の子どもたちが田植えを体験したり、メダカをすくったりと、とても楽しそうな姿を見せてくれます。夏はヒマワリ。秋にはコスモスを咲かせ、11月に種を刈り、夏に蒔き、また秋に咲く。このようにして花を咲かせています。

花づくりの活動を大変だと思ったことはなく、ただただここを通る人が、花を見て「きれいだなあ」、そう感じてもらえると嬉しいのです。

牟岐には自然がたくさんあります。その牟岐のためにできることをやっていきたい、体が続く限り、陰になっても日向になっても。



NPO 法人
カイフネイチャーネットワーク
理事長 浅香 新八郎

〒775-0005
徳島県海部郡牟岐町大字灘字下浜辺198-1
TEL.FAX : 0884-72-2520
(町立 貝の資料館モラスコむぎ内)
URL : <http://www.pikara.ne.jp/kaifu-n-net/>



蝶と植物には密接な関係が

あもう りゅうたろう
天羽 龍太郎さん

蝶と植物は密接な関係にあり、環境と植物の分布状況によって蝶の分布域も推測することができます。

私は蝶が卵からさなぎになるまで育てたりもします。越冬する卵は低温を加えてやらないと孵化しないし、孵化しても体力が衰えて育ちません。そのため冷蔵庫で低温刺激を加えてやります。また、家の庭にある木はほとんど蝶のエサになる木。蝶は種類によって幼虫の食べる植物（食草）が、異なる為、食草が入手できなければ、卵があっても育てられないからです。以前、絶滅危惧種の貴重な蝶が徳島県では唯一あるお寺の一角にだけ棲息していたのですが、そこに塔が建った為、食草群落が消滅し絶滅していました。

このように自然保護は容易なことではありません。しかし、自然破壊から自然を残し、守っていくのは地域の人間です。ふるさとを守っていけるよう、これからも活動を続けていきたいと思っています。



大島は牟岐の宝！

ひらやま まさのり
平山 正則さん

カイフネイチャーネットワークが最初に手がけたのが牟岐大島のフウラン復元事業。牟岐大島の希少植物で、小さくて白いきれいな花を咲かせます。夜に香りますが、これが最高に良い香り。ところが、昭和40年代にランブームがあり、大島のフウランの殆どが盗掘されてしまいました。それを復元しようと種子を持ち帰り、培養苗の着生を始めました。最初は、植え付けに行っても苗が弱く育たなかったりしましたが、試行錯誤を繰り返すようやく着生に成功しました。花が咲くまでに7年程かかり、平成26年にやっときれいな花を咲かせてくれました。現在では、努力の甲斐があり、約200~300本のフウランが大島に残っています。

今後は、どう保護し育てていくかなどが課題となります。大島は牟岐の宝！仲間たちと協力し、率先して宝を守っていきたいです。



こんな活動をやっています！



他人との違いを魅力と感じ、自分らしく生きていきたい

今回は、NPO法人 Japan GID Friends の理事長を務める清水展人さんにお話をうかがいました。NPO法人 Japan GID Friends は、性同一性障がい者（GID）を含むセクシャルマイノリティ（性的少数派）当事者や家族、周囲の方々の悩みを解消する手助けや、セクシャルマイノリティの社会的認知にむけての啓発活動を行っています。

爽やかな笑顔と穏やかな口調で話をされる姿の中に、強い信念を秘められている清水さんの、思いや考えを伝えていきたいと思います。

清水さんは、幼少の頃から女性であることに違和感を覚え、女性として生きていくことに限界を感じた21歳の時に海外で性別適合手術を受け、帰国後に戸籍を男性に変更しましたが、社会の認知度はまだまだで、理解が得られませんでした。

そんな時に清水さんの価値観を教えてくれたのは、専門学校時代に知り合った現在のパートナーだそうで



NPO 法人 Japan GID Friends
理事長 清水 展人さん

す。障がいを隠して生きた方が楽なのではと思っていた清水さんにパートナーが「隠す必要はないでしょ。障がいがあるからこそ、人に優しくなれるんじゃない？もっと堂々といったら。」と前向きな言葉を笑顔で言われたことや、周りの方が自然と受け入れてくれたことで、自分に自信が持てるようになり胸を張って生きれるようになったそうです。明るく前向きな清水さん的人柄だからこそ、周りの方の理解を得られたのだと感じました。

清水さんは自分自身が経験してきたことを生かし、子どもから高齢者、教職員、行政、企業など幅広い方に向けて年間100件以上の講演会を行っています。

徳島県、大阪府、兵庫県、東京都等、各地でご活動されている清水さんの原動力は「伝えたい。という思いと、伝えていかなくてはならない。という現状と、応援してくれる周りの方の力によって、背中を押されて頑張れる」ご自身が体験されて辛かったこと不安だったこと、また、そこから学んだことなどたくさんのことを取り越えてきた清水さんだからこそ、その経験を今の活動に活かすことができ、同じ悩みを持つ方の力になれるのだと思いました。

清水さんのこれから目標は、「LGBT に限らず高齢者や障がい者、女性、子どもすべての人が LGBT の象徴であるレインボーの様に、1人1人の個性が輝いて生きられる社会にしていきたい」と話されました。

これから多くの人の心を動かし、セクシャルマイノリティの社会的認知が進んでいくことを期待したいと思います。
(島田 陽子)

T E L : 0 8 8 3 - 2 2 - 2 2 2 9 (吉野川市人権課)
E-mail : hiroto.shimizu1010@gmail.com
HP : <http://tensai-simizu.jimdo.com/>

シリーズ・このひとから

マスターズ甲子園に挑戦

NPO法人 阿波勝浦井戸端塾 塾長 稲井 稔

高校教師時代、ほとんどの時間高校野球の指導に係つたことで、野球は大好きである。プロ野球は阪神、それよりも「血わき肉躍る」のが愛する高校野球である。縁あって長年母校の監督を拝命した。定年後、かつての教え子、球児達とマスターズ甲子園を楽しんでいる。マスターズ甲子園とは高校を卒業した後、母校のユニホーム姿で他チームと試合をするもので、年齢は20歳前後から還暦過ぎた者までが甲子園出場を目指すもので、県下には現在14チームが参加している。かつての球児



リオオリンピックに参加するビッグひな祭り

達は、今家庭ではよき父である。試合が始まる。せり出した腹、走る姿はたどたどしく危なっかしい。それでも懸命にプレーする姿は、かつての高校時代の風景そのものである。スタンドからは「パパ、がんばって」の家族の温かい声援が聞こえる。家族の強い絆である。母校のユニホームにそでを通し、ノックバットを握る、球場の土、芝生の感触、そよ吹く風は監督時代そのものでいいようない心地よさである。

社会人となった彼等とのこの試合、この時間は、有意義な大切なひとときで貴重な財産であり、宝物である。これからも健康を維持し、球児と共にマスターズ甲子園に挑戦したいと思っている。

稻井 稔

元祖ビッグひな祭り実行委員会 理事長、
勝浦町老人クラブ連合会会長、勝浦町社会教育委員長、徳島県退職公務員連盟副会長、元勝浦町教育委員会 教育長、元県立高等学校 教師・野球部監督、元保護司



ボランティアを通じた地域づくり

阿南市社会福祉協議会 おおさか かずひろ 和弘

私は社会福祉協議会に就職した当初より、ボランティアコーディネーターの仕事をしています。阿南市では地域や施設からボランティアの依頼も多く、日々、同僚や先輩、上司、そして阿南市ボランティア連絡協議会（阿V協）をはじめ地域の多くのボランティアの皆様に助けてもらしながらコーディネート業務を行っています。

現在、阿南市社会福祉協議会でのボランティア事業の取組みの一つとして、昨年度から災害ボランティア養成研修を始めております。今回、熊本・大分両県でも地震による大災害が起きましたが、「安心・安全な町づくり」は社会福祉協議会の使命もあり、多くの協力を得ながら災害時に活躍してもらえるボランティアさんの登録を行っております。

最後に、コーディネート業務をする中で、これからの社会を担う方た

ちがボランティアを通じて福祉への理解が深まる事も大きな励みです。近年、福祉の人材不足が社会問題にもなっていますが、ボランティアでの出会いを通して多くの方に福祉の楽しさを感じてもらう、そんなボランティアコーディネーターを目指していきたいと思います。



H26 加茂谷鯉祭り



H27 ボランティアフェスティバル



イベントガイド

「うずつこタウン」を開催

子どもたちが生き生きとはたらくまち「うずつこタウン」を開催します。子どもたちが社会貢献活動団体の方たちから仕事を教わり、いっしょに生き生きとはたらくことにより、活動の内容や重要性を学びます。ぜひ遊びにきてください!!

◆うずつこタウン

開催日時：平成28年7月24日(日) 9:30～14:40
場所：キヨエイ鳴門駅前店4F
内容：NPOボランティア活動体験(ステージ発表・製品販売等)
主催：認定NPO法人とくしま県民活動プラザ・社会福祉法人
徳島県社協福祉協議会・徳島市市民活力開発センター

NPO・ボランティアおためし体験事業～「ごみゼロ阿波踊り大作戦」ボランティアスタッフ募集!!

日時：平成28年8月12日(金)～15日(月)
①17:30～20:00 ②20:00～22:30
③17:30～22:30
場所：「三菱東京UFJ銀行前(徳島市元町2丁目16)」
※現地集合
内容：ごみ分別ステーションを設置し、来場者にごみの分別回収を呼びかけます。ボランティア活動が初めての方でも心配ありません。ぜひ、ご参加ください。
お問い合わせ：認定特定非営利活動法人 とくしま県民活動プラザ
〒770-0873 徳島市東沖洲2町目14
沖洲マリンターミナルビル1F
TEL.088-664-8211 FAX.088-664-5345

出前授業の講師(団体)登録のお知らせ ～小中学校の授業に貴団体の力を生かしてみませんか～

平成28年度より、とくしま県民活動プラザでは、出前授業における小中学校への講師(団体)派遣を始めます。小中学校の授業において支援をいただける県内の社会貢献団体を募集します。

お問い合わせ・申し込み先：とくしま県民活動プラザ
TEL.088-664-8211 FAX.088-664-5345
E-mail:info@plaza-tokushima.com



特定非営利活動法人 あわホームホスピス研究会
代表 五反田 千代さん

住み慣れた地域で最期まで豊かに生きる

特定非営利活動法人 あわホームホスピス研究会は、住み慣れた地域で最期まで暮らすことを実現する一助となるような、仕組みづくりの活動を進めていくことをを目指しています。

五反田さんは、東京で看護師・地域の保健師として長年経験していくなかで、本人やご家族の思いに寄り添ったサポートができていたのかどうか自問自答するようになりました。そして、それはご自身が人生の折り返しの時期を意識するようになり、また、故郷の徳島に帰省するたびに、懐かしい景色を目にして、「住み慣れた地域で、親しい人に囲まれて逝きたい」と思うようになりました。そんな思いから、2013年にあわホームホスピス研究会を設立しました。

病気や加齢で、様々な変化を遂げても、身近な人や社会の助けを借りながら、再び新たな「自分らしい生き方」を実現できるように、病院でも自宅でもない、心とからだを開放する第三の居場所「病気と共に生きる人と家族のための居場所づくり」のために様々な取り組みを整備しています。

文・岩藤のり子



ハートリレー

No.35 岩藤さんから五反田さんへ



New face

NPO法人 チャレンジサポートーズ

設立について

平成20年12月から、徳島市のしんまちボードウォークで開いていた「徳島わくわく日曜市」。徳島市中心市街地の活性化と次世代を担う若者の育成という2つの目的を持って、平成27年4月から新たに「トモニSunSunマーケット」として再スタートしました。

その運営主体となったのが、同時期に設立したNPO法人チャレンジサポートーズです。

現在の主な活動

同法人が運営する、トモニSunSunマーケットは、「学生が徳島の旬を提供する」というコンセプトのもと、毎月第1、第3日曜日に開催しています。

この日曜市は、学生スタッフが中心となって、開催日までに企業や各種団体を回り、出店交渉やステージへの出演依頼、イベント企画等を行います。

また、開催当日は、総合案内所を設けるとともに出店者の販売補助やステージイベントの運営等を行っています。

これからビジョン

現在、「トモニSunSunマーケット」は2年目に入ったばかりで、まだまだたくさんの課題があります。でも学生自身が課題にチャレンジし、それを乗り越え、物事を最後までやり遂げることを目的としています。課題の一つに、現在出店者数が20～30店舗で停滞しており、今一つ活気に欠けることが挙げられます。

今後は、学生スタッフがもっと積極的に企業や各種団体に参加の呼び掛けを行うことで50店舗ぐらいまで増やし、出店者もお客様も楽しめる、笑顔溢れる日曜市へ成長させたいと考えています。

学生スタッフが日曜市での活動経験を活かし、将来社会人となつた時、様々な分野で大活躍することを願っています。



学生代表 白坂 しらさか 賢太 けんた さん



NPO法人 チャレンジサポートーズ

設立年月日 / 2015年3月30日

MAIL : chiiki@tokushimacchi.or.jp

フェイスブック : <http://www.facebook.com/tomonyunsunmarket>

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!

一般社団法人
徳島県医師会
会長 斎藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264



CLEAN UP 吉野川をきれいに!
参加団体、募集中。



吉野川交流推進会議
〒770-0870 徳島市万代町1丁目1番地
TEL 088-621-2748
FAX 088-621-2768
E-mail office@yoshinogawa.org
<http://www.yoshinogawa.org/>
We Love Yoshinogawa

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(認定特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

●プラザ開館時間
開館時間:10:00～18:00
【研修室利用時間】
火曜日～土曜日:10:00～21:00
日・祝日:10:00～18:00
休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



公共交通機関をご利用の場合

JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリナーミナル」下車すぐ
・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」
行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

編集後記

4月1日から、とくしま県民活動プラザに仲間入りさせていただきました、プランニングマネージャーの菊本です。3月末日まで小学校の教師をしておりました。初めての経験や慣れない仕事ばかりで戸惑う日々ですが、ボランティア活動を通して人と人をつなぎたり、子どもたちに社会貢献活動の芽を育んだりすることは、とても魅力的でやりがいのある仕事だと感じています。

情報誌「ひと」35号は、私にとって初めての発行誌で記念版とも言えます。プラザ職員が現地に足を運び取材を重ねてできあがったものです。ご愛読くださいますようお願い致します。(菊本佳孝)

地域生活支援と私



社会福祉法人 健祥会

地域密着型特別養護老人ホーム 健祥会ライデン

施設長 吉田 耕造

私が、前職の労働団体役員から健祥会へ入職を決めたのは、現理事長である中村太一氏との出逢いからであります。

「星合之代 奨学基金」第二期奨学生決定

県内の児童養護施設等の児童が高校卒業後の進学費用を給付型奨学生として助成し、こどもたちの夢の実現及び、社会的自立の支援、並びに児童福祉のより一層の向上を願い、徳島県社会福祉協議会にその遺贈金を託していただいた「星合之代奨学基金」では、本年度、第二期生を募集し、この度5名の奨学生が決定しました。

奨学生は、今春から大学や専門学校へ進学し、将来の希望に向かって羽ばたいてゆきます。

こどもたちが自分の道を歩み 夢をかなえるために



預託

●株式会社マルナカ徳島店様より、社会福祉協議会等へ日用品のご寄贈 ●徳島県調理師共栄会様より障害者支援施設眉山園への和食料理のご提供 ●株式会社ジェイアール四国ホテル開発ホテルクレメント徳島様より、高齢者福祉施設ベニアガーデンのご招待

寄付

●一般財団法人徳島県民間福祉施設職員共済会様 ●株式会社阿波銀行様 ●篠原石油株式会社様 ●株式会社教育出版センター様 ●株式会社アルファ・システムズ様 ●協業組合徳島印刷センター様 ●有限会社KENデザイン事務所様 ●名鉄観光サービス株式会社徳島支店様 ●株式会社ふくなが様 ●有限会社ライトスタッフ様 ●徳島ホテルリゾート株式会社徳島グランヴィリオホテル様 ●株式会社ダイヤジム様 ●有限会社紙喜紙文具店様 ●三信電気株式会社徳島支店様 ●原公認会計士税理士事務所様 ●株式会社ジェイアール四国ホテル開発様 ●株式会社徳島銀行様

ありがとうございます

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

補償金額(保険金額)

保険金の種類	プラン	Aプラン		Bプラン
		死亡保険金	1,200万円	1,800万円
ケガの補償	後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術保険金	入院中の手術 外来の手術	65,000円 32,500円	100,000円 50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害・入院・通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)		
賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

全国200万人 加入!!

平成28年度

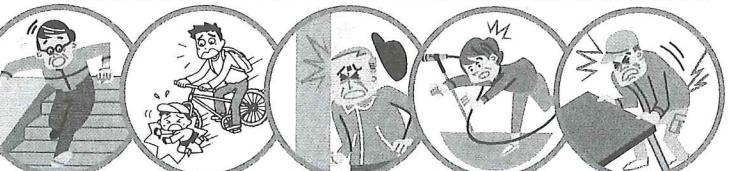
ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者の自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		430円	650円

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

(引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
TEL:03(3593)6824 受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763 営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒に結ぶ団体契約です。

(SJNK15-17042 2016.02.18作成)

健祥会へ入職を決めたのは、現理事長である中村太一氏との出逢いからであります。中村太一理事長が徳島県労働委員会の使用者側委員として任命され、私は労働者側委員で理事長と共に労働委員会の場で事件を担当することがあり、また、徳島労働局においても、最低賃金委員や雇用保険審査参与と共に務めたことがきっかけでした。

理事長と顔を合わす機会が増えた中、健祥会グループにおいての相談も聞くことがあります。その中には、介護職の離職率の問題、様々な労務管理等にアドバイスをすることがあります。少しでも役に立てたらとの思いで二〇一四年九月から健祥会グループへ入職することになりました。

健祥会グループの掲げる3つの行動指針である「利用者ニーズに応えるサービス」「職員のやる気による職環境」「地域社会への貢献」の内一つである職環境の

改善構築に資するため、働く者の雇用や権利を守る立場を理解している人間として人事部補佐というポジションを与えて頂きました。

前職とは、まったく違う業界である介護の仕事について、まずは介護の現場を知らなければいけないと、短い期間でありますが、いくつかの施設経験をさせて頂きました。

いざ、介護現場を見ると介護職員の利用者に対しての献身的な働き方を見て、自分が介護に抱いていたイメージが一新されました。

今まで培った経験と知識を前述の行動指針である「職員のやる気による職環境」の構築を推進する

に応える職環境」の構築を推進するために、日常業務においては、毎日現場に出ることで職員とコミュニケーションをとることに努めています。

常に職員と会話をする機会をもつことで職員にとって何が問題なのか?何を求めているのか?職員の目線に立つことが重要なことだと思います。

介護人財不足に対しても、前職での業界関係との連携をとり、再就職紹介や外部で行われている介護実務者研修の実習先としての実習生受け入れを通じて人財確保に努めています。

二〇一二五年問題等、急速に進む高齢化に介護職の人財確保は喫緊の課題であります。だからこそ魅力ある働き甲斐のある職場づくりなど様々な事を実施して来ました。

また、昨年度は介護労働安定センターの「人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善事業」の啓発実践コースによる研修等を健祥会グループとして受けける

など様々な事を実施して来ました。

注 健祥会グループにおいて人材は大切な財産と言ふ意味で文章内に人材の表記に財の字を使用しています。

これからも、いつまでも頼りがいのある銀行として、地域のみなさまとともに歩んでまいります。

ずっと、ここから。120th 阿波銀行

http://www.awabank.co.jp/

環境にやさしい銀行を目指し
環境保全活動に取り組んでいます。



つきあは とくぎん
徳島銀行
http://www.tokugin.co.jp

多様な相談への対応

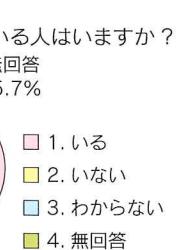
『近所や施設・事業所の協力

地域において気にならる人の存在

7割程度の民生委員が、月平均1件から5件の相談を受けています。

相談者は、「高齢者ご本人」、「地域の住民から」の順に多く、経済的な相談や健康・医療、在宅福祉など日常生活における幅広い内容の相談が寄せられています。

これまで、周囲にも認知症の妻の状況を明かさず、一人で介護し支えてきたご主人がありました。不意に姿を消し、近所を徘徊する奥さんを探したり、ご主人自身が病気で倒れたことで自分一人での限界を悟り、ご近所や施設に助けてもらおうとご主人が動きました。



問：「1.いる」と回答の場合は、そう感じたきっかけや状況等をご記入してください。

＜きっかけ＞項目	回答
日常の会話など	14
訪問・見回り時	45
本人・家族からの相談	12
近所の人からの相談	19
その他	4
合計	94



問：「1.いる」と回答の場合は、そう感じたきっかけや状況等をご記入してください。

社会福祉法人へ期待するもの

地域住民の課題解決に必要と考える地域の新たな取り組みについて、全国での実践報告されている事例をあげて、その期待度を調査しました。

「困りごとや生活等に関する見守りや寄り添い支援」や「見守り活動による社会的な孤立の予防や早期発見」へ高い期待が寄せられるとともに、社会福祉法人の施設等のハード面や専門職員によるソフト面が地域に活用されることを期待する回答が目立ちました。

今後に向けて

今回の調査結果は、今後、地域の民生委員や行政、社会福祉協議会や社会福祉法人などの多様な機関がともに力を結集して、地域のニーズに則した総合的な相談体制づくりを構築していくための貴重なデータとなりました。

県社会福祉協議会では、総合相談・生活支援対応力強化への取り組みを進め、各地域における連携・協働のプラットフォームづくりに取り組んでまいります。

社協の実践

ともに生きる豊かな福祉社会を目指して

地域住民が主人公となる福祉のまちづくり



福祉活動委員会の様子

阿波市社協では、地域住民や関係団体との協働により、安心して暮らすことのできる福祉コミュニティの実現を目指すため、平成26年度から平成30年度までの5ヵ年計画で地域福祉活動計画を実行しています。吉野・土成・市場・阿波の各地区の地域福祉活動計画を実行しています。吉野・社活動計画実行委員会では、それぞれの地域の特性・実情に合わせた各種イベントや、災害時の対応力向上、危険箇所の確認、定期的な環境整備活動等を行い、社会の変化に対応した柔軟な体制での取り組みを進めています。

今年度からは新たに、阿波市内10カ所の放課後児童クラブの指定管理者を受託しました。学校や地域の様々な社会資源と連携することで、柔軟な体制での取り組みを進めています。

また、全国で頻発している災害時においても、障がい等を抱えている方への円滑な支援を目指すため「福祉避難所」との連携を図りたいと考えており、阿波市内の社会福祉施設と合同による訓練の実施を検討しています。

これからも住民主体の理念のもと、地域のあらゆるニーズに応えたサービスを実践してまいります。

vol.8 北島町社会福祉協議会



男の料理教室

北島町では、年々人口が増加しており、単身高齢者数も増加しています。北島町社協では、高齢者の引きこもりによる社会的孤立を防ぎ、様々な活動を通じて、生きがいをもつて健康的な生活を送ることを目的とした介護予防事業を実施しています。陶芸やカラオケなど、17講座19教室で実施される「生きがい講座」をはじめ、「小地区ふれあい会」や「ふれあいニコニコサロン」、「笑いヨガ講習会」、「男の料理教室」など、明るく楽しく多様な事業を実施しています。

この事業を実施することにより、参加者同士が顔見知りの関係になることから、高齢化社会で求められる地域での生活支援活動の充実になり、お隣さん同士で助け合うことができる「つながりづくり」にもなります。



ふれあいニコニコサロン（オカリナ演奏会）

今年度は、ボランティア活動の充実に向けた取り組みを進めています。ボランティア活動に参画することにより、住民一人ひとりが社会参加・社会的役割を持つことで、生きがいや認知症予防になります。今後も、誰もが安心して暮らすことできる、元気なまちづくりを推進してまいります。

地域における相談活動と社会福祉法人への期待調査

問：あなたが受けた相談について、解決のために必要だと思われるものをご回答ください。

項目	回答
1. 相談機関の充実	619
2. 連携先の確保	384
3. 地域住民等の理解	376
4. サービスの拡充	151
5. 情報提供・収集	384
6. 民児協の組織対応	106
7. その他	41
無回答	97
合計	2,158

活における幅広い内容の相談が寄せられています。

折良く、認知症についての啓発を考えていたグループホームに、これまでの経験を基に家族の目線で描いた寸劇の脚本を提案し、事業所の職員が認知症の詳細や周囲の対応などを細かに演じ伝えます。この寸劇は、さまざまなおところで上演され、地域と高齢者を結び、住民が接する場づくりのために社会福祉協議会が開催する「ふれあい会食会」でも、参加者を前に上演されます。高齢者の送迎を担当する民生委員、料理を担当するボランティアも加わり、高齢者の憩いの場・交流の場、そして福祉関係者にとっての情報の収集・提供や相談対応の場となっています。



お隣さん同士で助け合いのできる関係づくり



男の料理教室

北島町では、年々人口が増加しており、単身高齢者数も増加しています。北島町社協では、高齢者の引きこもりによる社会的孤立を防ぎ、様々な活動を通じて、生きがいをもつて健康的な生活を送ることを目的とした介護予防事業を実施しています。陶芸やカラオケなど、17講座19教室で実施される「生きがい講座」をはじめ、「小地区ふれあい会」や「ふれあいニコニコサロン」、「笑いヨガ講習会」、「男の料理教室」など、明るく楽しく多様な事業を実施しています。

この事業を実施することにより、参加者同士が顔見知りの関係になることから、高齢化社会で求められる地域での生活支援活動の充実になり、お隣さん同士で助け合うことができる「つながりづくり」にもなります。



ふれあいニコニコサロン（オカリナ演奏会）

今年度は、ボランティア活動の充実に向けた取り組みを進めています。ボランティア活動に参画することにより、住民一人ひとりが社会参加・社会的役割を持つことで、生きがいや認知症予防になります。今後も、誰もが安心して暮らすことできる、元気なまちづくりを推進してまいります。